

科目名		建築一般構造 2							年度	2025
英語科目名		Building Construction Method 2							学期	後期
学科・学年		建築学科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		宮部 瑛理	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】										
・RC造、S造、SRC造の構造・工法、材料、骨組み、構造形式、各部の名称と仕組みなどを理解できる ・工法および材料の特徴や長所・短所などが、設計計画上で重要なことを理解できる ・一級・二級建築士の資格取得のための基礎知識であることを理解できる										
【科目の概要】										
A. 鉄筋コンクリート造の構造形式と特徴を理解している B. 鉄筋とコンクリートの特徴や特性を理解している C. 配筋の基本的な仕様がどのようなものか理解している D. 鉄骨造の構造形式と特徴を理解している E. 鉄骨鉄筋コンクリート造のお構造形式と特徴を理解している										
【到達目標】										
テキストと配布資料をよく理解し、予習・復習を行うこと。 なお、確認テストや中間テストは未提出となると0点になるため注意が必要。										
【授業の注意点】										
テキストと配布資料をよく理解し、予習・復習を行うこと。 なお、確認テストや中間テストは未提出となると0点になるため注意が必要。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価		レベル5 優れている			レベル3 ふつう			レベル1 要努力		
到達目標 A		RC造を深く理解し、 建築計画に活かすこ とができる			RC造と建築の関係性 が重要だと認識して いる					RC造と建築には関係 がないと考えている
到達目標 B		鉄筋とコンクリート の特徴を深く理解 し、建築計画に活か すことができる			鉄筋とコンクリート の特徴と建築の関係 性が重要だと認識し ている					鉄筋とコンクリート の特徴と建築には関 係がないと考えてい る
到達目標 C		配筋の基本的な仕様 を深く理解し、建築 計画に活かすことが できる			配筋の基本的な仕様 と建築の関係性が重 要だと認識している					配筋の基本的な仕様 と建築には関係がな いと考えている
到達目標 D		S造を深く理解し、建 築計画に活かすこと ができる			S造と建築の関係性が 重要だと認識してい る					S造と建築には関係が ないと考えている
到達目標 E		SRC造を深く理解し、 建築計画に活かすこ とができる			SRC造と建築の関係性 が重要だと認識して いる					SRC造と建築には関係 がないと考えている
【教科書】										
初めての建築一般構造／学芸出版社										
【参考資料】										
ビジュアルハンドブック必携建築資料／配布プリント										
【成績の評価方法・評価基準】										
学期末に行う定期試験、授業中に実施する小テスト、アクティブラーニングの理解度で学力を評価する 出欠席および授業の通り組み姿勢で評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等